

# 令和5年度 学校評価報告書

学校番号(小57) 長崎市立(鳴見台小)学校

## 1 教育目標

「自ら学び、心豊かで、健やかな子ども」の育成

## 2 学校経営方針

すべての児童を、すべての職員で指導することで、一人ひとりが大切にされ、安心して学習や生活ができる環境を確保するとともに、学級経営を安定させ支持的学校風土を醸成していく。

## 3 重点目標

- ①学習指導の充実
    - ・学力の基礎を伸ばす指導
    - ・家庭学習の定着
  - ②心の教育の充実
    - ・体験学習や地域との交流（はばたき農園活動の推進）
    - ・安全で心地よい学校生活習慣の定着
  - ③健康教育の充実
    - ・体力、運動能力の向上
    - ・感染症予防の徹底
- ・「自分の考えを持ち、進んで学び合う授業」を目指した授業改善  
 ・いじめの未然防止と早期発見、早期対応  
 ・基本的生活習慣の定着

## 4 自己評価

※ は昨年度よりも上がっている項目

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策	
			(肯定的割合・%)				
			児童生徒	保護者	教職員		
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	88	94	92	学校教育目標達成に向けて高関与してきたこと、保護者の理解が得られている。児童の評価は昨年度と同率。教職員の評価では、業務の改善について、ほぼ前評価となっている。大先生ボランティアの活用、行事や会議の縮減等、子どもと向き合う時間を確保するための行ったことが実を結んでいると思われる。今後は、子どもの成長につながる指導を行っている必要がある。	
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	85	93	92		
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			83		
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			83		
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	81	82	50	教職員がルールやマナー、人権意識を守っていないと厳しく評価している。バスの乗降マナーや音楽遊び等、日常生活に即した生活指導、基本的生活習慣の定着指導の徹底を行わなければならない。今年度も豊津台地区のバスの乗り方などは、何度も繰り返し指導しているが、徹底できず今後も行っていくべき。保護者や児童委員の協力や相談については、迅速に、的確に、組織的に担任、管理職共に対応している。生活アンケートも毎月実施し、把握しようとする努力をしているが、それ以外にも、日々の観察に努め、気になる様子があれば、積極的に対応していく必要がある。特別支援教育については、組織的に対応し、個に応じた支援を行ってきた。今後もより個に応じた指導を行っていくべき。	
		挨拶をよくしている	84	75	92		
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	73	70	67		
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	86	83	100		
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	79	77	100		
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	91	86	58		
平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	93	89	83			
特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	93	78	92			
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	91	92	92	特色ある学校の教育活動として「はばたき農園活動」を行っているが、今年度は30周年ということもあり、記念行事を企画し地域からの参加促進等に努めた。継続的な教育、保護者や地域の力の協力により、実施した「はばたき農園活動」ができたことに感謝している。学習指導については、保護者が家庭学習を促していることと評価している。一方で、教職員は、家庭学習と学習指導が連携できていないと危機感を感じている。明確な評価が得られなかったため、今後改善していく。	
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	93	90	92		
		家庭学習の習慣が身に付いている	88	73	58		
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	83	66	58		
健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	85	89	100	コロナ禍ではなくとも、健康に関する教育を疎かにしないよう、保健指導、栄養指導等を中心に対応してきた。しかし、教職員の意識に比べ、児童、保護者の評価が低下している。今後も指導を継続していく必要がある。食に関する指導については、栄養指導が食育指導を行ったり、給食委員会が啓発したりした結果、保護者の評価が高くなっている。	
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	78	81	67		
	食育	食に関する教育活動を行っている	87	91	92		
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	93	86	100	今年度は「はばたき農園活動30周年記念感謝祭」が行われたことから、地域やPTAとの連携が取れているという肯定的評価の割合が増加したと考えられる。持続可能な行事となるように、運営方法等を考え抜く必要がある。情報提供については、担任による通信や学校長によるHPの更新で伝えることができた。	
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	89	93	92		
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	57	89	100		
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			92		
環境整備	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	93	86	67	プレハブの建設があり、本年度から使用可能。プレハブで生活しても教育環境が確保できるかという点については必要がある。職場環境については、今年度の経験を生かし、働きやすい職場づくりをしっかりと評価することができた。	
	環境環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			92		

## 5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

<成果と課題>  
 ・保護者の評価は、少しずつ高くなっている項目が多くなっている。一方で、児童の評価はどの項目においてもあまり変化が見られなかった。児童の実感が伴う教育活動を実施していく必要がある。  
 ・教職員の評価については、働き方改革に関連する項目の評価がよくくなっている。働きがいを感じることもできる職場環境づくりを、今後も、管理職、職員が団結してつくりだすことで、よりよい効果を生み出していこうと思う。懸念されることとしては、生活指導上の問題が多く、児童や保護者の対応に疲弊している職員もいる。「チーム学校」として組織的に対応していきたい。

<対策>  
 日課の変更などにより、働き方改革を推進していく。少しでも教職員が余裕を持てるようにして、個に応じた指導の充実を図っていきたい。また、支援員の力を借りながらICT活用もさらに進めていきたい。

## 6 学校関係者評価

・「はばたき農園活動」を持続可能なものにしていく。  
 ・地域コミュニティ、育成会、はばたき応援団、育友会、学校が連携を密にとり、児童のためにできることを行っていく必要がある。  
 ・「もうすぐ1年生 集まれ」を新1年生児童、保護者のために行った。入学への不安感を和らげようと、ファミリープログラムを用いて保護者座談会をしたり、地域の方々とも子どもが遊びを通して触れ合ったりすることができた。参加者の評判もよかったため、来年度も継続していく。  
 ・豊津台地区と光臨台地区の連携を強化していく必要がある。今年度は、地域をまたいだ祭りを開催する。  
 ・豊津台地区と光臨台地区では、組んでいる問題もぜんぜん違う。地区ごとの小さな話し合いも必要ではないか。課題は違うが、みんなで分かりあっていくことが必要。  
 ・保育園、幼稚園等が校区内に無い。連携が難しい。

## 7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

・「はばたき農園活動」が学校にも保護者にも負担とならないよう、内容の精選を行っていく。  
 ・地域コミュニティを中心に、学校・保護者・地域が一体となって、学校や地域の課題に取り組んでいくようにしたい。  
 ・「もうすぐ1年生 集まれ」などといった活動を充実させることで、児童が安心して登校できる学校づくりを行う。  
 ・豊津台地区の自治会加入率が低い。継続して呼び掛けを行ってもらい、祭りを充実させていきたい。